

## 令和 3年度 行政評価事業別シート

	<b>実計対象</b>	<input type="checkbox"/>	<b>評価対象</b>	<input checked="" type="checkbox"/>	<b>新規</b>	<input type="checkbox"/>	<b>完了事業</b>	<input type="checkbox"/>	<b>ゼロ予算事業</b>	<input type="checkbox"/>	<b>担当者</b>	窪田潤一
	<b>全体計画</b>						<b>経費区分</b>		経常的経費		<b>内線</b>	3423
<b>事務事業名</b>	4178 勤労者福祉事業											
<b>所 属</b>	150200 産業振興部・産業連携開発課											
<b>施 策</b>	15052900 労働環境の整備と勤労者福祉の増進											
<b>予算科目</b>	<b>会計</b>	01 一般会計										
	<b>科目</b>	050102 労働費・労働諸費・労働諸費										
	<b>事業</b>	020000 勤労者福祉事業										
<b>事業目的</b>						<b>事業概要・効果</b>						
勤労者が生き生きと働き、実りある生活ができるよう、福祉の向上を図る。労働条件・労働環境を正しく把握し、勤労者福祉や雇用促進施策に反映させる。						勤労者生活資金の融資斡旋及び利子補給、中小企業退職金共済加入奨励補助、勤労者住宅建設資金融資利子補給等を実施し、勤労者福祉の増進を図る。 駅前自転車駐車場の管理について、関係機関と協力・連携をしながら整理に努める。自転車駐輪場の課題解決に向け、利用団体が連携して検討・活動をしている。						

**PLAN-DO**

**年度実績及び予定**

<b>令和 2年度 実績</b>	<b>令和 3年度 予定</b>
1 勤労者生活資金（預託、利子補給）、2 勤労者住宅建設資金融資利子補給金、3 勤労者資金融資保証料補給金、4 中小企業退職金共済加入奨励補助金、5 自転車駐車場、6 労働団体との連絡調整	1 勤労者生活資金（預託、利子補給）、2 勤労者住宅建設資金融資利子補給金、3 勤労者資金融資保証料補給金、4 中小企業退職金共済加入奨励補助金、5 自転車駐車場、6 労働団体との連絡調整
<b>令和 4年度 予定</b>	<b>令和 5年度 予定</b>
1 勤労者生活資金（預託、利子補給）、2 勤労者住宅建設資金融資利子補給金、3 勤労者資金融資保証料補給金、4 中小企業退職金共済加入奨励補助金、5 自転車駐車場、6 労働団体との連絡調整	1 勤労者生活資金（預託、利子補給）、2 勤労者住宅建設資金融資利子補給金、3 勤労者資金融資保証料補給金、4 中小企業退職金共済加入奨励補助金、5 自転車駐車場、6 労働団体との連絡調整
<b>令和 6年度 予定</b>	<b>令和 7年度 予定</b>
1 勤労者生活資金（預託、利子補給）、2 勤労者住宅建設資金融資利子補給金、3 勤労者資金融資保証料補給金、4 中小企業退職金共済加入奨励補助金、5 自転車駐車場、6 労働団体との連絡調整	1 勤労者生活資金（預託、利子補給）、2 勤労者住宅建設資金融資利子補給金、3 勤労者資金融資保証料補給金、4 中小企業退職金共済加入奨励補助金、5 自転車駐車場、6 労働団体との連絡調整

指標名	須坂市勤労者互助会の会員数				
算式	年度末の会員数で比較する				
年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
目標値	目標				
	実績				
指標選定の理由	須坂市の勤労者の多くは中小企業で働く者であり、労働条件や福利厚生の中で大企業と格差があることから、中小企業の福利厚生を高め、福祉の向上につなげるため。				
最終年度目標の根拠	会員の入脱会が常にある中で、令和2年度に会員数1,460人を目標とした。				
指標名					
算式					
年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
目標値	目標				
	実績				
指標選定の理由					
最終年度目標の根拠					
指標名					
算式					
年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
目標値	目標				
	実績				
指標選定の理由					
最終年度目標の根拠					

事業費

(単位：千円)

		令和2年度 決 算	令和3年度 予 算
事業費		126,736	130,638
特定財源	国庫支出金	0	0
	都道府県支出金	0	0
	地方債	0	0
	その他	120,000	120,000
一般財源	6,736	10,638	
人員数(人)	正規職員	0.3	0.0
	嘱託職員	0.5	0.0
	臨時職員	0.0	0.0
人員コスト	正規職員	2,090.4	0.0
	嘱託職員	1,574.5	0.0
	臨時職員	0.0	0.0
	計	3,664.9	0.0
市民一人当たりの経費	2.5	2.5	
総額	130,400.9	130,638.0	

(単位：千円)

令和2年度決算 事業費の内訳		
主な節	金額	内容
7節 報償費	0	
10節 需用費	187	消耗品48 光熱水費(電気料)139
12節 委託費	903	自転車駐車場管理委託516 放置自転車処理運搬委託57 シルバー人材センター委託330
14節 工事請負費	0	
18節 負担金補助及び交付金	3,001	補助金3,001
その他	122,645	報酬等2,593 役務費(郵便料)52 貸付金(生活資金預託金)120,000

(単位：千円)

令和 3年度当初予算 事業費の内訳		
主な節	金額	内容
7節 報償費	0	
10節 需用費	512	消耗品45 光熱水費(電気料)171 修繕料296
12節 委託費	955	自転車駐車場管理委託517 放置自転車処理運搬委託64 シルバー人材センター委託374
14節 工事請負費	0	
18節 負担金補助及び交付金	6,374	会議出席負担金4 各種補助金6,370
その他	122,797	報酬等2,677 費用弁償27 役務費93 貸付金(生活資金預託金)120,000

CHECK

個別評価		
項目	評価観点	評価内容
必要性	<ul style="list-style-type: none"> <li>市民の生命・財産を守るため市が実施することが必要不可欠な事業であるか</li> <li>行政内部の管理運営上必要な事業であるか</li> <li>市が主体となり実施すべき事業か</li> <li>法的な根拠や公的関与の妥当性はあるか</li> <li>目的は結果(施策の目指す理想)に結びついているか</li> </ul>	高い
評価コメント	勤労者の充実した就労には、インフラである自転車駐輪場は社会的に必須であり、また、勤労者の生活維持のために融資制度などの経済的支援施策の必要性は年々高くなっている。	
有効性	<ul style="list-style-type: none"> <li>事業の成果は上がっているか</li> <li>目標に対する達成度は十分か</li> <li>市民生活上の課題解決に貢献しているか</li> <li>行政内部の管理上の課題解決に貢献しているか</li> <li>事業の目的が達成できるような事業内容になっているか</li> </ul>	有効
評価コメント	労働人口が年々減少傾向にあるが社会的機能は不可欠であり、その成果は達成されている	
効率性	<ul style="list-style-type: none"> <li>成果を落とさずにコストを削減する方法はあるか</li> <li>効率性向上に努めているか</li> <li>使用料などの受益者負担や補助対象事業の範囲など、財源確保の余地はないか</li> </ul>	変わらない
評価コメント	関係団体の協力により経費が最小に抑えられていることもあり、これ以上の効率性の余地はない。	

振り返り(決算年度の取組み課題)

勤労者福祉の向上に十分寄与しているものと思料する。

**ACTION**

**1次評価**

**2次評価**

次年度以降の方向性	総合計画に沿って継続	次年度以降の方向性	総合計画に沿って継続
総合評価コメント		2次評価コメント	
<p>駅前駐輪場の老朽化に適切に対処し、管理経費の節減に努める。 勤労者生活資金の融資あっ旋ほか勤労者支援事業を通じた勤労者福祉の増進を図る。</p>		<p>中小企業等で働く勤労者福祉の増進のため、各種事業を継続して取り組む。</p>	

**外部評価**

次年度以降の方向性	
外部評価コメント	